

久留米工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	応用英語1	
科目基礎情報							
科目番号		4M01		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科		材料システム工学科(2017年度以降入学生、但し、令和4年度は材料工学科を含む)		対象学年	4		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		BASIC TEXTBOOK FOR THE TOEIC L&R TEST, NET ACADEMY NEXT					
担当教員		安部 規子					
到達目標							
1. 基本的な語彙・表現で書かれた300語程度の英文を読み、辞書を引かずに大意を理解できる。 2. 音のつながりや英語のリズムに慣れ、日常会話レベルのリスニング力を身につける。 3. テキストで使用されている語彙、文法、構文を習得する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
リーディング		平易な英文を毎分100語程度の速度で読み、理解できる。		300語程度の平易な英文を読んで質問に答える作業を10分以内にできる。		300語程度の平易な英文を読むのに20分以上かかり、質問に正しく答えることができない。	
リスニング		テキストのリスニング問題で80%以上正解できる。		テキストのリスニング問題で60%以上正解できる。		テキストのリスニング問題で正解率が50%以下である。	
語彙、文法、構文		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の80%を習得する。		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の60%を習得する。		テキスト本文で使用されている語彙や文法や構文の60%を習得できていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		これまでに習得した語彙・文法・構文の知識に基づいて、様々なトピックの英文を読み理解する力と、日常会話レベルのリスニング力を付ける。NET ACADEMY NEXTを活用し語彙力の向上を図り、TOEICに向けたステップとする。					
授業の進め方・方法		授業は教科書に沿って進める。語法・文法を復習すると共に、リスニングとリーディング演習を行う。TOEIC形式の問題を解くだけでなく、テキスト中の「精読コーナー」や「ディクテーション」「シャドーイング&オーバーラッピング」の活動も行う。					
注意点		(1) 中間試験・定期試験70%、ネットアカデミーの指定範囲（PowerWords Level 2）と課題を30%を目安として評価する。 (2) ネットアカデミー(Level3)の範囲は、中間試験までにUnit 1-25、確認テスト1-5、期末試験までにUnit 26-50、確認テスト6-10、実力テスト1とする。また、範囲を2分割して、毎回の定期試験に出題する。 (3) 事前学習として次回の授業範囲を予習しておくこと。 (4) 評価基準：60点以上を合格とする。再試験は原則行わないが、行う場合は上記ネットアカデミーの指定範囲の終了と課題の提出を必須条件とする。また社会の状況により再試験を課題に変える場合がある。本科目は学修単位であるので、授業時間以外での学修が必要であり、これを課題として課す。テキストのリスニングについては音声ダウンロードし、指定する部分について各自で取り組むこと。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション			授業の内容と学習の仕方を理解する。	
		2週	UNIT 1 Words & Phrases, Listening & Reading			動詞の基本的な用法を理解する。	
		3週	UNIT 2 Words & Phrases, Listening & Reading			品詞と文型を理解する。	
		4週	UNIT 3 Words & Phrases, Listening & Reading			受動態を理解する。	
		5週	UNIT 4 Words & Phrases, Listening & Reading			時制の用法を理解する。	
		6週	UNIT 5 Words & Phrases, Listening & Reading			動名詞と不定詞の用法を理解する。	
		7週	UNIT 6 Words & Phrases, Listening & Reading			現在分詞と過去分詞の用法を理解する。	
		8週	前期中間試験			これまでの内容を復習し定着させる。	
	2ndQ	9週	UNIT 7 Words & Phrases, Listening & Reading			前置詞の用法を理解する。	
		10週	UNIT 8 Words & Phrases, Listening & Reading			関係詞・接続詞の用法を理解する。	
		11週	UNIT 9 Words & Phrases, Listening & Reading			助動詞と仮定法を理解する。	
		12週	UNIT 10 Words & Phrases, Listening & Reading			比較とTOEIC頻出の形容詞を理解する。	
		13週	UNIT 11 Words & Phrases, Listening & Reading			TOEIC 頻出の名詞表現を理解する。	
		14週	UNIT 12 Words & Phrases, Listening & Reading			副詞と重要構文を理解する。	
		15週	UNIT 13 Words & Phrases, Listening & Reading			模擬試験	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2	

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前3
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前3
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前4
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前4
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前4
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前5
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前5
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前5
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前6
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前6
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前6
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前7
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前7
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前7
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前9
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前9
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前9
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前10,前13
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前10,前13
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前10,前14
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前11,前14

評価割合

	試験	NET ACADEMY NEXT & 課題					合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0